

分科会名	第5B分科会 研究課題「教職員の専門性に関する課題」
研究主題	教職員の指導力向上を目指す協働体制の構築 ～ 教職員の力量を高める ～
提言者	所属：三養基地区教頭会 学校名：みやき町立三根中学校 氏名：衛藤 拡典
紙面協議のまとめ	<p>【発表内容についての所感】</p> <p>○教職員の指導力については様々な観点があるが、学校運営の核となる教頭の立場から、人材育成に焦点を当てて、組織の協働体制の構築を目指した研究は、非常に価値があると思った。そして、その実現に向けて学校評価、人事評価等を生かして、教頭が教職員一人ひとりに働きかけていく方策と事例が、具体的かつ簡潔にまとめられている点で有用な提言であると感じた。(小学校)</p> <p>○教職員の力量を高めるということは、すなわち人材育成である。学校それぞれの取組があり、今後の学校運営の参考になった。特に、教頭のみでは難しいが、校長と連携し、「人事評価制度」を生かしながら人材育成に取り組むことは、有効な手段であると思った。(小学校)</p> <p>○教職員配置の2極化に伴い、今後10年間を見通したミドルリーダーの育成の緊急性を改めて考えさせられた。そのために、校長の指示の下、「教頭」がどのように教職員に関与していくのか、各校の実践を共有できたことに成果を感じる。次年度に向け、各校の実践を地区の共通実践へ広がりをもたせ、人材育成は課題であるという個々の教職員の意識の強化が求められていると考える。(中学校)</p> <p>○今年度、三養基地区の小中学校の実践を共有し研究を進めた。「教職員の指導力とは何か」また、「学校運営において教頭がどのように教員に関与していくか」を具体的に考えることができ大変有意義であった。今年度の実践の成果を基に、学校課題を積極的に解決しようとする組織づくり、教職員の力量の向上について、教頭だからこそできるよりよい関わり方を探るとともに、人事評価を生かす共通実践に取り組んでいきたい。(中学校)</p> <p>○教頭が期待する学校運営への教職員の参画意識がアンケートに数値として上ってこない。これは、教師に余裕がないからではないだろうか。授業をしっかりと組み立てるためには授業準備が必要だが、部活動に割かれ業務効率が悪くなっているのでは。「働き方改革」を進めるうえで、学校評価で学校課題を分析し、人事評価で個々の目標設定を適切に促すことが教頭に求められている。(中学校)</p>
研究部長より	<p>若手教師が増加する中で人材育成をどのように進めるかは重要な課題である。本研究はそのシステム化にある。学校課題解決に向け、学校評価を有機的に活用し、人事評価制度にどのように結び付けるか、また、個々の目標設定をどう具現化(分掌化)するか、教頭の関与は大切な役割を要する。職員への丁寧な説明やヒアリングを通じて職員のやる気を促さなければならない。必要に応じて研修の機会を構想するのも人材育成の要素である。何も新たなシステムを作り出すというのではなく、既存の施策を有機的に運用することで十分な効果が望まれると期待している。点と線をつなげる教頭の包括力が今こそ求められていることは言うまでもない。</p> <p style="text-align: right;">(みやき町立北茂安小学校 善 理右彦)</p>